

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. A-28

部門名: カリキュラム・マネジメント実践部門	エントリー名: 山梨県立市川高等学校 三枝和博 平成30年度第5回中堅教員研修
----------------------------------	------------------------------------------------------

活動名:
AL型授業の教材づくり(12文字以内)
教員間での教材の共有を目指して(16文字以内)

解決すべき課題: 本校数学科では、3年前からAL型の授業を日常的に行う取り組みをしている。そうすることで問題演習では生徒間で自発的な教え合いが生まれ、協働的な探究活動の素地が整いつつある。しかしながら、教員によって授業の捉え方はまちまちであり、とすると従来の講義形式の授業になってしまうこともある。また、教員が個々に授業の準備(スライド・プリントの作成等)を行うことも、多忙化につながり負担感が大きい。教職員等中央研修第5回中堅教員研修「新しい学びの推進」(伏木久始)では、主体的・対話的で深い学びについて、またその推進にあたっての留意事項などを学んだ。生徒を主体的・対話的で深い学びに導くには、従来の授業スキルとは異なるスキル(コーチングなど)が必要だとも感じている。

目標・方針: まず、数学科のなかでAL型授業に対する認識を統一し、教科としての教育目標や目指す姿を確認する。その上で、年次進行で作成されている教材を共有しブラッシュアップを図っていく。生徒のリフレクションや授業評価・学習成績等から授業内容や授業形態の妥当性を評価していく。

活動内容: 本校の校訓・教育目標から教科目標や育成する資質能力などを話し合い、指導計画として表にまとめた。(表1・写真1)本校のAL型授業では毎時間4枚のプリントを配布している。その内訳は、授業プリント(資料1)練習プリント(資料2)解説プリント(資料3)確認テスト(資料4)である。授業の流れは(表2)の通りである。これらの教材をすべて共有するためにファイルサーバーに保管し、必要に応じて担当者が利用することにした。(図1)1時限で生徒が理解すべきこと・解くべき問題は、事前に担当者間で決めている。各教員はそれぞれiPadを持っており、授業プリントをスライドとして、プロジェクターやモニターで提示し授業を行う。この提示資料については、教員個人のアイデアやストーリー展開を可能とするため、参考までに過年度のものを共有しているが、改変したり新規に作成することを推奨している。

活動の成果: カリキュラム・マネジメントに基づく指導計画を作成する過程で、本校の校訓「敬愛自尊」の理念が「対話的な学び」のねらいに合致していることに気付き、AL型授業推進の原動力となった。また、数学科として生徒にどんな資質能力をつけさせたいかを話し合うことによって、教員各人の思いを互いに理解するとともに、教科として目線あわせができたという感想を得た。さらに教材を共有することで、これまでAL型授業の経験がない新任の教員もスムーズに授業を実施できた。(写真2)それぞれの教員がもつ指導のアイデアは、iPad同士でも簡単に共有できるため、担当者間で指導内容について話し合うことが増えたことも成果としてあげられる。この形式で行う授業は、当初の想定していたよりも授業進捗が速く、これまでよりも余裕を持って指導できている。学習を諦めてしまう生徒も少なくなり、結果としてこれまでよりも成績向上の兆しが見られた。

アピールポイント(アイデアや工夫): 教員が毎時間の授業を振り返るのにも、生徒によるリフレクションカードの提出が重宝している。また、Classiを活用することで、生徒のリフレクションをスマートフォン経由で集約し授業の終わりに提示することでフィードバックする取り組みもしている。授業進捗に余裕がある分、単元の末ではこれまでに学習した事柄を、グループでイメージマップにまとめる(写真3)などの探究的な活動に時間を割くことができる。

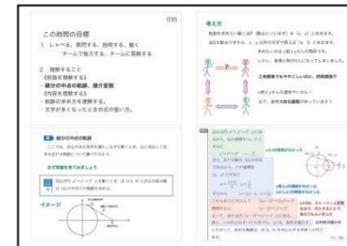
表1: カリキュラム・マネジメントに基づく指導計画

育成する資質能力	わかること・できること	探究すること・活用すること	共に学ぶこと
数学科の目標	①主体的に学び、より良い人生を切り拓いていく生徒を育てます。 ②創造性や社会性など、豊かな人間性をもった生徒を育てます。 ③達成心や公共心を持ち、社会に貢献できる生徒を育てます。	①主体的に学び、より良い人生を切り拓いていく生徒を育てます。 ②創造性や社会性など、豊かな人間性をもった生徒を育てます。 ③達成心や公共心を持ち、社会に貢献できる生徒を育てます。	①主体的に学び、より良い人生を切り拓いていく生徒を育てます。 ②創造性や社会性など、豊かな人間性をもった生徒を育てます。 ③達成心や公共心を持ち、社会に貢献できる生徒を育てます。
3年次終了(数学科)の目標	①日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。 ②日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。	①日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。 ②日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。	①日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。 ②日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。
具体的	①日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。 ②日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。	①日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。 ②日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。	①日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。 ②日常生活や学習活動において必要な数学的知識や技能を身に付け、主体的に探究活動を行うことができる。

写真1: 指導計画に関する話し合い



資料1: 授業プリント



2: 練習プリント



3: 解説プリント



4: 確認テスト



表2: 授業の流れ

【1時限45分の内訳】

時間	内容
10~15分	教師による解説
20~25分	問題演習 (グループでのアクティブ・ラーニング)
5分	確認テスト
5分	採点・リフレクションカードの記入

図1: 教材共有のイメージ図

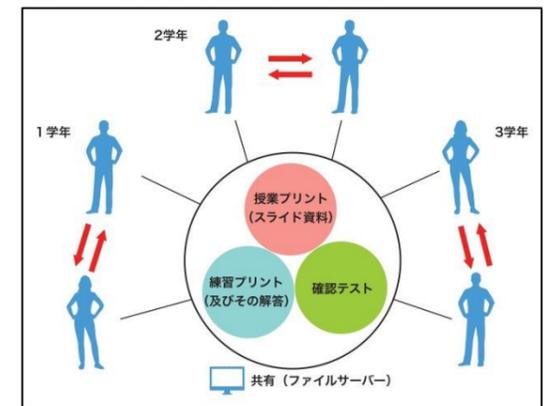


写真2: 授業風景



写真3: 単元のイメージマップ

